

スポーツマネジメント研修		国際交流委員会	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の教養選択科目	科目ナンバリング	22200132

### 1. 授業のねらい・概要

スポーツマネジメントと言えば、アメリカ合衆国が非常に発展しており、本研修ではハードとして UCLA 施設やドジャースタジアムなどを視察する。またソフト面では、どのような運営を行っているかを学ぶ。さらにオプションで NBA（実施時期によって MLB）を観戦するなどして、実際にハードとソフトがどのように観客動員やリピーターの創出を実現させているかを体験し、学ぶことができる。さらに、本研修では、アメリカの科学的トレーニング実践についても体験する。アメリカの科学的トレーニングは世界をリードしており、選手のコンディショニングに関して、その理論と実践は選手としても、またトレーナー等を目指す者としても貴重な体験となるだろう。

### 2. 授業の進め方

後学期中に計3回の事前授業を実施し、夏休みまたは春休みにロサンゼルスへ渡航する。ドジャース・スタジアム、UCLA 施設にて研修を行い、また EXOS トレーニングジムあるいはスポーツアカデミーにて、身体、トレーニング等に関する講義およびスポーツトレーニングの実践を体験する。帰国直後にレポートを提出。

### 3. 授業計画

①実施までに少なくとも3回の事前授業として、海外渡航に関する注意喚起、視察箇所に関する事前知識、ESTA、旅行保険加入の手続き、英語等に関する講義。	③その他、ドジャースタジアム、UCLA 施設を視察。
②研修期間は5泊7日とし、EXOS スポーツトレーニングジム、またはスポーツアカデミーにて、1コマの講義とスポーツトレーニング体験を受講。	④帰国後にレポートを提出。

### 4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

パスポートや ESTA、旅行保険、キャッシュカードなどの取得に関して、期限を設けているため、その期限までに各自しっかりと準備すること。また、渡航先の文化、気候、地理的情報、社会情勢等に関して調べて、質問等をまとめておくこと（2時間程度）。日本国籍以外で米国入国に際し、ビザが必要な学生は十分な時間的余裕をもって自分で取得すること。

### 5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

帰国報告会にて意見交換等実施する。

### 6. 授業における学修の到達目標

日本と外国のスポーツマネジメントに関する違いや最先端のトレーニング理論に関する知識を得ることを目標とする。

### 7. 成績評価の方法・基準

事前授業の受講態度、各施設視察、レクチャー、トレーニング体験などへの積極性(70%)、帰国後レポート(30%)の提出にて総合的に評価する。

事前授業への不参加・態度不良、準備の遅れによっては、国際交流委員会の判断で、参加を諦めてもらうことがある。

### 8. テキスト・参考文献

事前授業や現地各地で配布される資料を用います。

## 9. 受講上の留意事項

- ①日程等の詳細は別途校内ポスター、掲示板にて告知する。費用は渡航費、宿泊費、各種施設研修費であり、合計で27.7万円(2017年度13名)であった(参加人数、為替の変動等で変更の可能性あり、また飲食費・遊興費等は除く)。
- ②現地にはNBAレイカーズ、クリッパーズの本拠地ステープルズ・センターがあり、またMLBドジャース、エンジェルススタジアムがある。実施時期によりオプション(追加費用)でNBAまたはMLBゲーム観戦を行う(事前授業でチケットをインターネット購入する)。
- ③最小催行人数は10名であり、それに満たない場合は実施されない。